

三条教区通信

第 47 号

発行日 2011年5月15日

発行者 三条教務所長 鷲尾 幸雄

発行所 真宗大谷派三条教務所
〒955-0071 三条市本町 2-1-57

変更⇒ E-mail : sanjo@higashihonganji.or.jp

URL : <http://www.gobosama.net>

★本通信は上記 URL からご覧いただけます。

今月の法語

〔法語カレンダーより〕

至徳の風
静かに
衆禍の波転ず

【教行信証行巻】



本山御遠忌法要

東北地方太平洋沖震災 救援と復興支援

本山救援金勧募にご協力いただいておりますこと、有り難く厚く御礼申し上げます。

直接本山へ、教務所を通して、また直接郵便振替で、多数の救援金が本山に寄せられております。21組からも100万円が教務所に届けられました(写真)。



それとは別に、教区独自の動きといたしまして、三条教区災害対策委員会が開催され、救援方針3件が決まりました。1件目として、先般教区内に改めて募金のお願いをいたしました。今後、残り2件、教区災害対策積立金から本山に救援金1000万円をお渡しすること、有志の会ボランティア活動に助成すること、について順次予算執行する運びとなっております。

また、先般チラシを同封いたしました、「仏青有志の会」による救援ボランティアが継続実施されております。

※宗派の被災者救援につきましては本山ホームページ(<http://www.higashihonganji.or.jp/>)に掲載されておりますので、是非ご覧ください。

研修会等ご案内

■ 春季声明講習会

開催案内既送

◆ 日 時 2011年6月8日(水) 9:30~16:15

◆ 会 場 三条教区同朋会館

- ◆ 講師 藤澤 善夫 氏(本山 堂衆)
- ◆ 内容 葬儀式を中心とした講習
- ◆ 持ち物 『中陰勤行集』、間衣、輪袈裟、小念珠
- ◆ 受講料 500円
- ◆ 問合せ 三条教務所(担当:五辻)まで。
〔主催:「声明講習会」部門〕

宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌

■わたしの御遠忌学習会 開催案内同封

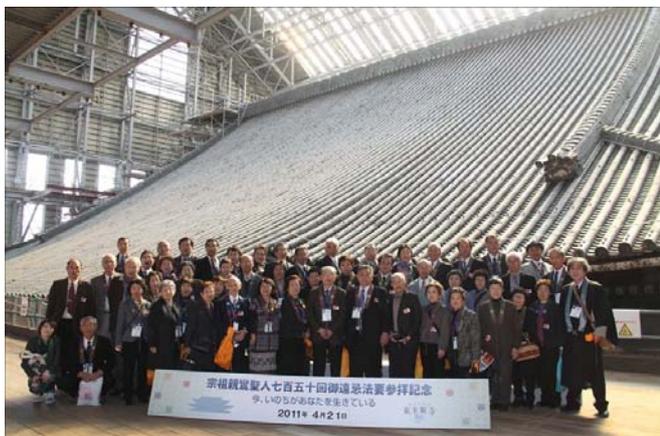
- ◆ 日時 2011年6月20日(月)13:30~17:00
- ◆ 会場 三条別院本堂
- ◆ 講師 佐々木道範氏
(仙台教区中組真行寺衆徒 仙台教区仏青会長)
- ◆ 内容 「東日本大震災を受けた今、私にとっての御遠忌とは何か。」
- ◆ 対象 教区内寺族・門徒、全ての有縁の方
- ◆ 受講料 500円
- ◆ 問合せ 三条教務所(担当:五辻、北島)まで。
〔主催:御遠忌委員会教化伝道部会〕

第二期御遠忌法要が執行されました

毎日変わりやすい不安定な天候の中、4月19日から28日まで御遠忌法要が勤められました。



鸞恩君と記念撮影



阿弥陀堂素屋根見学



にぎわうごえんき村の様子(みやこめッセ)



親鸞展会場の京都市美術館



第一期ともども団参ご苦勞様です

2011年	
第三期法要	5月19日~5月28日
御正当報恩講	11月21日~11月28日

井上雄彦氏作・屏風「親鸞」

記念グッズの期間限定販売について

昨年11月から井上さんはTwitter上で「Smile」と題した絵を描き続けておられましたが、この震

災が起きたことから、特に震災以降に描かれた絵をポストカード、Tシャツ、PC壁紙などにグッズ化し、チャリティー活動をしておられます。

真宗大谷派も地震の発生直後から職員を派遣して災害救援活動を行い、現在も継続しています。そうしたことから、幾つかのグッズを制作してその全ての収益金を寄付し、震災復興に役立ててもらおうこととなりました。グッズの販売を通して屏風「親鸞」を広く公開していくことが、見た人が「人間」そのものに思いを深める「縁」となってほしいと考えています。

1 販売グッズ (巻末見本をご覧ください)

- (1) ポストカード (左隻・右隻) 11.0cm
* 30.2cm 各¥200-/枚
- (2) ポスター (左隻・右隻) 37.5cm
* 103.0cm 各¥1,200-/枚
- (3) ポスター(専用額入: 左隻・右隻)
※額入のみ、東本願寺関係の販売所のみでの限定販売。通販は行いません各¥7,500-/枚
- (4) ミニ屏風「親鸞」 14.8cm
* 41.1cm (半双) 左右セット¥3,600-
- (5) 屏風「親鸞」レプリカ (シアル No. 付・限定生産)
42.2cm*110.7cm 右隻・左隻セット¥75,000-

2 販売場所・販売期間

- (1) 東本願寺境内「御遠忌お買い物広場」(2011年5月28日まで)
- (2) 東本願寺東南すぐ「ごえんき村」(2011年5月28日まで)
- (3) 通信販売 (2012年3月31日まで) 通信販売は㈱フラワー (<http://www.flow-er.co.jp/>) で行う予定で、5月下旬開始を予定。

3 被災者支援 本グッズの収益金全てを日本赤十字社に寄付し、「東日本大震災(東北地方太平洋沖地震)」被災者支援に役立てていただきます。

教化委員会からのお知らせ

三条教区教化研修テーマについて

教化委員会企画委員会において、これまでの教区教化研修テーマ「共にといえる 人生を生きよう」について、教化委員会任期満了までの間、継続する運びとなりました。

教区教化委員会を中心に、このテーマについて考察を重ねて、次の教化委員会へ引き継ぐべく、【「共にといえる、人生を生きよう」に憶う】と題して、順番に執筆、毎月『教区通信』に掲載いたします。

第31回目は、研修部会委員の井上温成氏です。

「共にといえる、人生を生きよう」に憶う

安心して共に居れる

第10組 間光寺 住職 井上温成

三月十一日の午後、未曾有の災害が起こってしまいました。

地震、それに伴う大津波、そしてそこから発生した原子力発電所の破壊と放射能漏れの三つの災害が重なっての甚大な被害となっています。

被災地では一万人を超えた死者と、それ以上の行方不明の方々を必死で探しておられる姿が伝えられてきています。

一方、姿形の無い我が家の思い出を探しながら、救援隊と共に復興への歩みをしておられる方々がたくさんおられます。

少しでも早く、家族と共にひと所で過ごせるようになる事を願ってやみません。

阪神、中越、中越沖地震を通して気になる事があるのです。

それは、仮設住宅ができ落ち着くと、その生活をより大きなものにしようと動きだして行きます。

その時、被災者として被災後に共に力を合わせて復興の為にと言って手を取り合っていました、仕事ができ力強く生活する人と、独立したいけれど、他に頼らなければならない人へと分かれてしまうのです。

その結果、孤独死、亡くなくても何ヶ月も発見されない方がたくさんあった事を思い出しました。

おなじ状況を持っていても、それを受け止めて進む人と進めない人に分かれてしまいます。

共にと言っていたのが、自分だけしか見えなくなってしまう、受け止めきれず歩めない人や弱い人との関わりを無くしてしまうのは何故なのでしょう。

「共に」と言いながら、自分と合う所だけが「共に」動くけれど、合わない時は眠ったふり死んだふりをしてる生活を善とする生き方をしてきたからではないでしょうか。

私達の生活が、人間の傲慢さからくる悲しさなのでしょう。そんな生活を見つめ直す歩みが、今回の大震災と真正面に向き合うことから始まるのではないのでしょうか。

見える少しの働きだけを大事にし、見えない大きな働きに支えられていると感じない私が、「おかげさま」としか言えないものが、私を包んでいる事を感じさせてくれるのが復興に向かう姿なのだと思います。

一人の力で出来るものと出来ないものがありますが、素直に、出来ない事は力を借り、出来る事があれば手伝ってあげる。そんな素直な生活や環境が、「いの

ち」を生きるものの本当の願いであり、生きる方向ではないですか。その方向を歩みだした時に、今までの自分の歩みが、間違っていた事に気がつくのです。

だから、違う人とも、どんな時でも安心して、娑婆を生れる生活がなされるのでしょうか。間違っても軌道修正する方向を知っているからです。

※次回は研修部会委員の渡邊智龍氏(第18組恩長寺)よりご執筆いただきます。

児連 子ども会巡回

第20組 金寶寺 朝倉 奏

4月29日、圓性寺様の花まつりに巡回で行って来ました。私が巡回に参加させてもらうのは2度目です。今回は児連のメンバーが昨年から製作してきた大型紙芝居「おににさらわれたあねこ」が披露されました。圓性寺様に集まった30人ほどの子どもたちは紙芝居に目を輝かせて見入り、あねこと弟が鬼におしりを見せて歌うクライマックスでは笑い声をあげていました。私も製作に携わった一人なので、努力が報われた満足感でいっぱいです。

私はその他にゲームを担当し、子どもたちに風船を使って遊んでもらいました。一生懸命ゲームに取り組む楽しそうな姿に、こちらが元気をもらいました。

お釈迦様の誕生をお祝いする花まつりに子どもたちがお寺に集い、勤行してから楽しいひと時を過ごす。有縁の方々の協力により完成した紙芝居がその一助となったことをうれしく思います。また、この日参加してくれた子どもたちがお寺での思い出を胸に成長し、ゆくゆくは聞法に足を運んでくれるようになることを願いました。



児童夏の集いスタッフ募集

三条教区では毎年、「三条教区児童夏の集い」を開催しています。

今年は、7月27日(水)～29日(金)、鷹の巣キャンプ場にて、2泊3日のキャンプを行います。普段と違う生活で輝く子ども達の眼が、スタッフにも「新しい発見」を連れてきてくれます。また、夏の集いには毎回、若手スタッフも多く参加し、スタッフ同士の交流の場ともなっています。

ご寺族・ご門徒関係なく、ぜひ、みなさまのご参加をお待ちしています。問い合わせは三条教務所担当(五辻)までお願いします。

教務所からのお知らせ

◎事務休暇のお知らせ

既に一部会議日程が入っておりますが、本山御遠忌期間中の特別勤務の代休として、下記のとおり事務休暇とさせていただきます。期間中まことに御迷惑をおかけいたしますが、何卒よろしく申し上げます。

記

- ①期間 2011年5月30日から6月1日まで
- ②緊急連絡先
・三条別院 0256-33-0007

◎同朋の会結成届けについて

寺院・教会や地域などで同朋の会が結成されましたら、結成届を教務所にご提出ください。届出の提出されました同朋の会には、「同朋の会提灯」や「同朋の会奉仕上山旗」が無償で贈呈されます。

(贈与は1回。提灯や上山旗には申請されました会の名称が入ります)また、「同朋会員結婚記念念珠」が無償で贈られます。詳しくは教務所(森・北島まで)

◎ラジオ放送「東本願寺の時間」について

ラジオ放送「東本願寺の時間」

○テーマ 「今、いのちがあなたを生きている」

○講師 (事情により変わる事があります)

☆5/15～6/25 海 法隆 氏(東京教区)

☆6/26～8/6 福嶋龍徳 氏(熊本教区)

○放送局 新潟放送(BSN)

*新潟県全県をカバー

・小出エリア 1026KHz

・中越エリア 1062KHz

・下越エリア 1116KHz

・塩沢エリア 1485KHz

・上越エリア 1530KHz

○時間 毎週金曜日 5:00～5:10

○提供 吉運堂 様

宗門が1951年11月よりラジオ伝道として取り組んできている「東本願寺の時間」について、吉運堂様のご提供により、新潟県でもお聞きになれます。

また、現在は、宗祖の御遠忌テーマ「今、いのちがあなたを生きている」を番組テーマとして様々な方より法話をいたしておりますが、現在、宗派のホームページである「しんらんしょうにんホームページ」(<http://higashihonganji.jp/index.html>)にて、これまで放送された番組をお聴きいただくことができます。

是非、ご聴取ください。

◎現代日本画「中島千波・畠中光亨」展

畠中さんは奈良県の真宗大谷派寺院のご出身で、大谷大学卒業後、京都市立芸術大学日本画専攻科を修了され、現在無所属、元京都造形大学教授をされました。

新潟市新津美術館(県立植物園となり)にて、5/22まで標記展覧会が開催されております。ご連絡が遅くなりましたが、是非お出かけください。

なお、僅かですが教務所に招待券がございます。ご希望の方はお申し出ください。

◎ 教区他 主な行事予定一覧(5月9日現在)

日程は変更となる場合があります。諸行事の重複等を避けるうえで参考になるよう、なるべく把握している行事は掲載しております。

日 時	行事内容
2011年	
5月	

5/7	真宗学院
5/14	真宗学院
5/17 14:00	仏青
5/19	～5/28 本山御遠忌第三期法要センター 15組有縁会
5/20	～21日 三条仏教会花祭り
5/21	真宗学院
5/25 15:00	児連
5/26	センター
5/28	真宗学院
5/31 15:00	夏の集い全体会議
6月以降の予定	
6/3 14:00	21組公開講座
6/4	真宗学院 保育大会・新任者研修会 20組公開講座
6/6 14:00	別院フォーラム会議
6/8 09:30	春季声明講習会
6/9	センター
6/11	真宗学院 19組推進員養成講座 佐渡「差別と真宗」
6/12 12:00 15:30	別院フォーラム2011※フリマは10:30～ 仏青報恩講
6/13	15・16組育成員研修
6/14 15:00	児連
6/15 14:00	夏の集い会議
6/16	センター
6/17 14:00	同朋の会教導会 教区御遠忌委教化伝道部会 15組有縁会
6/18	真宗学院 新潟地区公開講座
6/20 13:30	私の御遠忌学習会
6/22 15:00	声明会議 ～23日夏の集い下見
6/25	真宗学院
6/26	長岡公開講座
6/30	教区教化委員・教区坊守会役員・教区御遠忌委員(所長選定)任期満了
7/2	真宗学院
7/9	真宗学院 19組推進員養成講座 16組聞法の集い
7/14	真宗学院同窓会総会
7/15	15組有縁会
7/16	真宗学院
7/18	15組推進員総会
7/23	真宗学院 前期試験
7/27	～29日 第49回児童夏の集い
8/20	真宗学院
8/21	真宗学院特別講義

8/24	16組教化委員会
8/27	真宗学院
9/3	真宗学院
9/13	～19日 真宗学院前期教師修練
9/9	16組声明講習会
9/10	19組推進員養成講座
9/13	～19日真宗学院前期教師修練
9/24	真宗学院
9/29 13:00	16組坊守会学習会
9/30	査察委員任期満了
10/1	真宗学院
10/8	真宗学院 19組推進員養成講座
10/15	真宗学院
10/22	真宗学院
10/29	真宗学院
11/5	～8日三条別院報恩講 真宗学院生参拝
11/12	真宗学院
11/19	真宗学院 19組推進員養成講座
11/21	～28日日本山御正當報恩講
11/26	真宗学院
12/2	～4日 19組養成講座後期上山
12/3	真宗学院
12/9 13:00	16組坊守会学習会
12/10	真宗学院
12/17	真宗学院学年末試験
12/31 11:45	大晦日 三条別院除夜の鐘
2012年 同朋会運動50周年	
1/1 00:00	三条別院修正会
2/25	～26日 真宗学院一泊研修会
3/31	教区門徒会員・教区監事(常任委員会選出)任期満了
4/30	参議会議員任期満了

駐在教導のつづき

～北島之篇～

本山の御遠忌が、残すところ三期の法要を残すのみとなった。

私は、ご縁頂き、3月の教区・別院の団体参拝の引率をさせていただいた。皆さんご承知のとおり、3月の法要は「中止」。「被災者支援の集い」への団体参拝となりました。

しかし、団体参拝に参加された方々は、口々に「本山へ、お参りできてよかった」とおっしゃられる。私たちの手前、気を使っておられるのかも知れませんが、その言葉に慰められた気がした。

50年に一度というこの勝縁。どう受け取るのかは、私次第であろうと思う。であればなおさら、「わたしの御遠忌」はどうであるのか？という問を、抱かすにはお

れない。

『御俗姓』に、こんな言葉が見える、

哀なるかな、それ聖人の御往生は、年忌とおくへだたりて、すでに一百余歳の星霜を送るといども、御遺訓ますますさかんにして、教行信証の名義、いまに眼前にさえぎり、人口にのこれり。貴とむべし、信ずべし。これについて、当時真宗の行者のなかにおいて、真実信心を獲得せしむる人、これすくなし。ただ、人目・仁義ばかりに、名聞のころをもつて報謝と号せば、いかなる志をいたすというとも、一念帰命の真実の信心を決定せざらん人々は、その所詮あるべからず。誠に、水に入りて垢おちずといえるたぐいなるべきか。これによりて、此の一七か日報恩講中において、他力本願のことわりをねんごろにききひらきて、専修一向の念仏行者にならんにいたりては、まことに、今月聖人の御正日の素意に相叶うべし。これしかしながら、真実真実、報恩謝徳の御仏事となりぬべきものなり。あなかしこ、あなかしこ。
(真宗聖典 八五二頁)

ある人は「毎日が御遠忌であるかのごとく生きるのだ」と言う方がおられた。現段階の本山御遠忌の開催形態を問うことはさて置き、素直に「わたしの御遠忌」となるべく、改めて第三期法要を「報恩謝徳の御仏事」として迎えたいと思う。

所員のささやき ～小山之篇～

「行くに徑に由らず」

或るなごり雪の日 来所された住職がぼつりと言われた。「いくに こみちに よらず」雪道の走り方と生き方の指針をからめてつぶやかれたと思うが、なるほどと思った。郷土の偉人 諸橋轍次先生(旧下田村出身 現三条市)の座右の銘でもあったらしい。原稿焼失や目の障害などいろいろな苦難の末、大漢和辞典の編纂という大事業を成し遂げられた。さらに辞書で有名な三省堂。名前の由来は、「吾 日に三度 吾が身を省みる」という同じく論語からの出典と聞く。身を処し正義を追求してこそまとまった仕事ができる。大事業も一つ一つまじめに、確実に事を成す。気が遠くなるような積み重ねでしか成しえない。日常の瑣末な事においても、愚直に見えても正義の下、大道を進みたい。と思っているが・・・。

3.11 東日本大震災。色々なことに気づかせられた。
①東北地方がどれだけ日本の経済を下支えしていたことか。原子力発電で生み出された電力のほとんどは都心に送られ、都心を動かしていた。都心の繁栄は日本の繁栄であり、日本人はもれなくこの恩恵に預かっていた。しかし、不条理にも東日本が集中的に被災

した。思い上がり、自然を甘く見て慢心し分をわきまえず、合理主義に走った。利便性のみを追求し、それをなんとも感じず、享受して来た者として、被災された方々には本当に申し訳ない。②大震災のときには、固かった桜のつぼみは色づき ふくらみ 花開き。そして散って若葉が繁っている。地球上に存在するもので変わらない者はない。よりよい未来のために変化しつづけている。③この度よく耳にした想定外という言葉の詭弁。便利さの追求と費用対効果の中で起こるべくして起きた想定外ではなかったか。想定内の想定外。このような状況の中、自分で作った想定外かもしれない。想定のおとこころを大きくする努力が必要。④情報の公開。前文で自然の前での人間をあまりに卑下してしまった。せんない後悔でなく前向きに情報を集め、根拠のある判断のもと闇雲に怖がらず、正しく恐れたい。過って改めざる、これを過ちという。日本の技術力や国民の意識の高さを誇りに思っているのが、安易な安全神話を振りかざして欲しくない。そして、同じ地球人としてたすけてと声を挙げ世界の国々の力を借りたい。世界に誇れる日本人としての真摯な姿勢で手を携えて正義のもと復興を切に願う。

被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。至らなさの為に考えがまとまらず、二転三転した文面で失礼します。私にとっては消化しきれない問いです。これからも永く考えていきたと痛感しました。

新潟親鸞学会からのお知らせ

第8回大会 公開講演のご案内

- 1.日時 2011年(平成23年)6月16日(木曜)
14:00～15:30
- 2.会場 廣圓寺(真宗大谷派)
〒959-1352 加茂市上町11-6
TEL 0256-52-0129・FAX 0256-52-0161
- 3.講題 「親鸞聖人伝の史実と伝承」
- 4.講師 草野頭之(くさのけんし)先生
大谷大学学長。1952年福岡県生まれ。専門は日本仏教史(中世)・真宗史。著書『親鸞の伝記—『御伝鈔』の世界』(筑摩書房、2010年)、『真宗教団の地域と歴史』(清文堂、2010年)、『戦国期本願寺教団史の研究』(法蔵館、2004年)、『信の念仏者親鸞』(吉川弘文館、2004年)、『蓮如大系第四巻 蓮如と本願寺教団(下)』(法蔵館、1996年)
- 5.聴講料 会員は無料。会員外は資料代¥500-

【お知らせ】

「親鸞となむの大地—越後と佐渡の精神的風土—」展

2014(平成26年)4月26日(土)～6月8日(日)開催予定。新潟親鸞学会では、宗祖親鸞聖人750回ご遠忌記念行事として、関係各教団・新潟日報社の協力を得て、上記期日に新潟県立歴史博物館を会場として企画展を開催の予定です。

【入会申し込み・お問い合わせ】

新潟親鸞学会事務局／超願寺内(〒951-8061 新潟市中央区西堀通二番町 ☎025-222-2820

新潟親鸞学会デスク：

<http://niigata-shinran.cocolog-nifty.com/blog/>

有志の会ボランティアのコーナー

今回は有志の会より報告いただきました活動経過のみ紹介させていただきます。

3月30日～31日 仙台教務所へ救援物資の輸送と現地視察。仙台教務所から宮城県亶理町の避難所へ救援物資輸送。仙台仏青との情報交換、連絡先の確認。また、長岡での炊き出しを実施。

4月8日～10日 仙台仏青からの要請があり、石巻市で入浴支援、炊き出し支援の応援。

4月11日～13日 能登・金沢・高岡教区と陸前高田市へ。被災寺院の仏具捜索、近隣避難所へ救援物資輸送

4月25日～26日 福島県いわき市での炊き出し。

4月25日 長岡市北部体育館にて2回目の炊き出し。

4月26～27日 仙台へ物資搬送と女川で炊き出し。

今後、5.11より南三陸町に向けて出発。現地では東京教区と合流して、南三陸町の避難所へ向かい、炊き出しのお手伝いをする予定です。また5月18日～20日の日程はまだまだ人員に空きがありますのでよろしくお願ひいたします。

仙台仏青のホームページ

<http://namaste.digick.jp/>と、

東京教区茨城1組の有志の方々のホームページ

<http://ibarakilkumi.blog.fc2.com/>をご紹介いたします。ときどき覗いてみてください。

メール配信をご希望の方は「shinsho@nct9.ne.jp」(三条仏青有志会連絡係 藤井信彰(14組長楽寺)までご連絡ください。